



株式会社荏原製作所

2021年12月期 第2四半期決算説明会

2021年8月13日

イベント概要

[企業名]	株式会社荏原製作所
[企業 ID]	6361
[イベント言語]	JPN
[イベント種類]	決算説明会
[イベント名]	2021 年 12 月期 第 2 四半期決算説明会
[決算期]	2021 年度 第 2 四半期
[日程]	2021 年 8 月 13 日
[ページ数]	26
[時間]	17:00 – 18:01 (合計：61 分、登壇：22 分、質疑応答：39 分)
[開催場所]	インターネット配信
[登壇者]	6 名 取締役 代表執行役社長 浅見 正男 執行役 風水力機械カンパニープレジデント 兼 冷熱事業担当 野路 伸治 執行役 環境事業カンパニープレジデント/荏原環境プラント株式会社 代表取締役会長 大井 敦夫 執行役 精密・電子事業カンパニープレジデント 戸川 哲二

サポート

日本	03-4405-3160	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasias.com

執行役 グループ経営戦略・人事統括部長

永田 修

執行役 経理財務統括部長

細田 修吾

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com





2021年12月期 第2四半期 決算説明会資料

荏原 (6361)

2021年8月13日

Looking ahead,
going beyond expectations
Ahead Beyond

株式会社 荏原製作所

松下：お待たせいたしました。本日はご多用のところ、株式会社荏原製作所、2021年12月期第2四半期決算説明会にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。

定刻となりましたので、ただ今より会を始めさせていただきます。

本日の15時に決算関連の書類を、東証のプラットフォーム、ならびに当社ホームページに開示しております。そちらもご覧いただきながら、ご参加いただきますようお願い申し上げます。

本日のスケジュールでございますが、決算概要を経理財務担当の細田より説明させていただき、続けて今期の見通しについて、社長の浅見より説明させていただきます。その後に皆様からのご質問をお受けいたします。終了時刻は18時30分を予定しております。

それでは、細田より説明に入らせていただきます。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



目次



決算ポイント	P3	5. トピックス	
1. FY21 1-2Q 連結決算サマリ		・ 荏原の水素関連事業プロジェクト	P13
・ 連結業績	P4	6. 補足資料	
・ セグメント別	P5	・ 受注高	P14
・ 地域別売上収益	P6	・ 売上収益	P15
2. FY21 1-2Q セグメント別業績		・ 営業利益	P16
・ 風水力	P7	・ 受注残高	P17
・ 環境プラント	P8	・ 地域別売上収益	P18
・ 精密・電子	P9	・ 貸借対照表	P19
3. FY21 業績予想		・ キャッシュ・フロー	P20
・ 連結業績	P10	・ 資本的支出、減価償却費、研究開発費	P21
・ セグメント別	P11		
4. FY21 株主還元	P12		

■ 略語の説明

- ・ FY：会計年度（例 「FY21」は2021年12月期会計年度）
- ・ 「1Q」は第1四半期の数値、「1-2Q」、「1-3Q」、「1-4Q」はそれぞれ第1四半期から各四半期末までの累計値であることを示している
- 本資料で示す財務数値はIFRSベースで記載している（FY21 1QよりIFRS適用）

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

決算ポイント



FY21 1-2Q業績

		前年同期比*	
■ 受注高	3,449 億円	+33.7%	↗
■ 売上収益	2,741 億円	+11.7%	↗
■ 営業利益	248 億円	+94.7%	↗

FY21 業績予想

		前期比*	
■ 受注高	7,010 億円	+37.1%	↗
■ 売上収益	5,915 億円	+13.2%	↗
■ 営業利益	560 億円	+49.1%	↗

*↗ は+5%以上、↘ は-5%以下の変化を、→ は変化が±5%未満であることを表す

トピックス

■ FY21 1-2Q 業績

風水力事業、環境プラント事業、精密・電子事業の全事業において前年同期比で受注高・売上収益・営業利益が増加

■ FY21 業績予想

風水力事業と精密・電子事業で受注高・売上収益・営業利益、環境プラント事業で受注高を上方修正

連結業績において過去最高益を見込む

■ FY21 株主還元

1株当たり年間配当金予想を100円から130円に引き上げ

自己株式の取得は、上限200億円のうち7月末時点で75億円買付済み（進捗率37.7%）

3 | Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved

Looking ahead, going beyond expectations
Ahead > Beyond

細田：経理財務担当の細田でございます。私から、2021年12月期第2四半期の業績決算の概要についてご説明させていただきます。

スライドの資料の3ページをご覧ください。まず、今回の決算のポイントについてご説明いたします。

当第2四半期決算は、新型コロナウイルス感染症拡大からの経済回復や、半導体需要の急増といった外部環境要因に加えまして、当社内で継続的に実施してまいりました各事業における施策の成果によって、風水力事業、環境プラント事業、精密・電子事業の全事業セグメントにおいて、前年同期の受注・売上・営業利益を上回る結果になりました。

今期の通期業績につきましては、5月14日に公表しました前回業績予想に対して、足元の進捗や下期の経営環境を踏まえて、業績予想を上方修正することといたしました。修正後の通期営業利益予想は560億円であり、これは過去最高益の更新となる見込みでございます。

通期業績予想の修正に伴い、年間配当予想につきましても、業績連動性の観点から修正することとし、また、5月に決議して現在進行中の自己株式の取得につきましても、順調に進捗してきている状況でございます。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



以上が、会社として捉えている当決算の要点でございます。

1. FY21 1-2Q 連結決算サマリ 連結業績



(単位：億円)	FY20 1-2Q	FY21 1-2Q	増減	増減率
受注高	2,580	3,449	+868	+33.7%
売上収益	2,454	2,741	+287	+11.7%
営業利益	127	248	+120	+94.7%
営業利益率	5.2%	9.1%	+3.9pts	
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	69	169	+99	+142.1%
為替レート (JPY/USD)	108.24	107.80		

では、詳細の説明に入りたいと思います。

4 ページ目をご覧ください。当第 2 四半期決算の連結業績でございます。

受注は前年同期から 868 億円、率にして 33.7%増加しまして 3,449 億円、売上は 287 億円増加して 2,741 億円、営業利益は 120 億円増加しまして 248 億円、営業利益率は 3.9%ポイント改善して 9.1%となりました。親会社の所有者に帰属する四半期利益は 99 億円増加して 169 億円と、第 2 四半期累計期間において、受注・売上・営業利益・四半期利益いずれも過去最高を更新しております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

1. FY21 1-2Q 連結決算サマリ セグメント別



(単位：億円)		FY20 1-2Q	FY21 1-2Q	増減	増減率
連結合計	受注高	2,580	3,449	+868	+33.7%
	売上収益	2,454	2,741	+287	+11.7%
	営業利益	127	248	+120	+94.7%
	営業利益率	5.2%	9.1%	+3.9pts	
風水力	受注高	1,508	1,654	+146	+9.7%
	売上収益	1,493	1,628	+135	+9.1%
	営業利益	78	134	+55	+69.8%
	営業利益率	5.3%	8.2%	+2.9pts	
環境プラント	受注高	360	616	+255	+70.8%
	売上収益	287	313	+26	+9.1%
	営業利益	21	28	+6	+29.8%
	営業利益率	7.6%	9.0%	+1.4pts	
精密・電子	受注高	703	1,168	+465	+66.1%
	売上収益	666	790	+124	+18.6%
	営業利益	34	89	+54	+158.2%
	営業利益率	5.2%	11.3%	+6.1pts	
その他、調整	受注高	7	9	+1	+24.4%
	売上収益	7	8	+1	+18.3%
	営業利益	-7	-2	+4	-
	営業利益率	-105.9%	-34.3%	+71.6pts	

5 ページ目をご覧ください。セグメント別のサマリーでございます。

各事業で、いずれも前年同期の業績を上回っております。

風水力事業では、主に中国や先進国を中心とする建築設備市場での需要回復に伴い、受注・売上が増加しました。営業利益は、前年同期から 55 億円増と 7 割近い増加率となっており、これはカスタムポンプ事業や、コンプレッサ・タービン事業における採算性向上が、第 1 四半期より継続したこと起因しております。

環境プラント事業につきましては、上半期にごみ処理施設の大型案件を 3 件受注しましたので、受注は好調で、また、工事進行売上も順調に推移しております。

精密・電子事業につきましては、顧客である半導体メーカーの設備投資が活発で、世界的な半導体不足から、顧客の工場稼働率も依然高い状況が継続したことを背景に、受注・売上・営業利益がいずれも前年同期を上回っております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

1. FY21 1-2Q 連結決算サマリ 地域別売上収益



(単位：億円)	FY20 1-2Q		FY21 1-2Q		増減	増減率
	実績	構成比	実績	構成比		
連結合計	2,454	100.0%	2,741	100.0%	+287	+11.7%
日本	1,125	45.9%	1,220	44.5%	+95	+8.5%
海外	1,328	54.1%	1,520	55.5%	+191	+14.4%
中国	316	12.9%	490	17.9%	+174	+55.2%
アジア (中国除く)	494	20.1%	445	16.2%	-49	-9.9%
北米	204	8.4%	221	8.1%	+16	+8.1%
欧州	169	6.9%	182	6.6%	+12	+7.3%
中東	95	3.9%	102	3.7%	+6	+7.2%
その他	47	1.9%	78	2.8%	+30	+64.1%

※「地域別売上収益」は売上先所在地別売上収益を示す

6 | Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved

Looking ahead, going beyond expectations
Ahead, Beyond

6 ページ目をご覧ください。地域別売上収益構成でございます。

こちらは、顧客の所在地別売上構成になっております。昨年はコロナの影響によって、グローバルに景気減速が見られましたが、今期は中国での設備投資が活発で、コロナ禍以前を上回る水準まで回復しております。

風水力事業では、コロナ感染の再拡大の影響もあり、日本や東南アジアの新興国などにおける建築設備の需要回復ペースはやや鈍化しております。

一方で、精密・電子事業においては、顧客の設備投資意欲が非常に高く、主要な地域で前年同期を上回っております。

セグメントごとの地域別売上収益は 18 ページにも掲載しておりますので、そちらも併せてご参照ください。

サポート

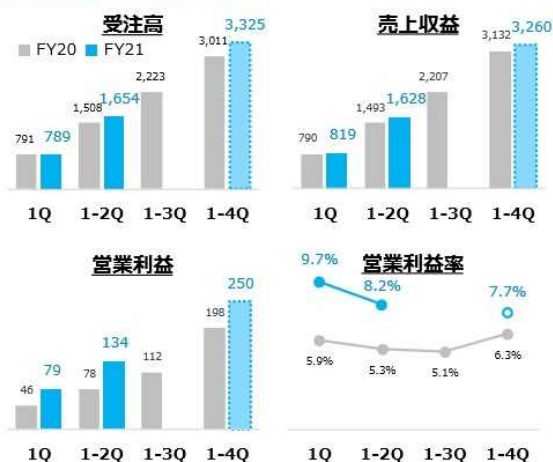
日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



2. FY21 1-2Q セグメント別業績 風水力



業績推移 (単位: 億円)



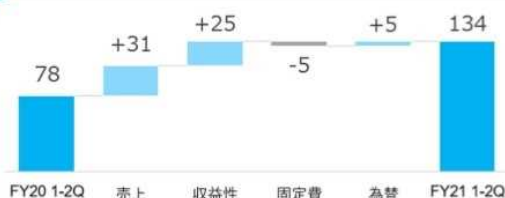
売上収益S&S比率

	FY20				FY21			
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q
風水力	41.1%	38.9%	35.8%	35.5%	35.7%	34.3%	-	-
ポンプ	34.3%	29.9%	26.8%	26.8%	31.3%	27.0%	-	-
CT	55.9%	56.5%	52.9%	51.1%	51.3%	52.9%	-	-

ポイント

- ポンプ**
- 標準ポンプは建築設備市場の回復により受注・売上・営業利益が増加 (+)
 - カスタムポンプは中国で受注・売上・営業利益が増加、国内で製品の収益性が改善し増益 (+)
- コンプレッサ・タービン (CT)**
- コロナ影響によりサービス&サポート (S&S) の売上が減少するも、受注は回復
 - 製品の収益性改善により増益 (+)
 - 固定費の減少 (+)
- 冷熱**
- 中国市場の回復により受注・売上が増加
 - 国内でS&Sの期ずれにより収益性が低下 (-)

営業利益増減要因分析 (単位: 億円)



続いて、主要セグメントごとの業績内容についてご説明いたします。

セグメント別の業績の説明に入ります。7 ページ目をご覧ください。まず、風水力事業についてでございます。

受注は前年同期から 146 億円増の 1,654 億円、売上は 135 億円増の 1,628 億円、営業利益は 55 億円増の 134 億円で、主にポンプ事業が牽引し、全体として増収増益となりました。

サブセグメント別に業績を見てまいりますと、ポンプ事業では、前年同期と比較して増収増益となっております。建築設備市場では、中国、欧米などを中心にコロナ禍からの需要回復が見られました。

石油・ガス市場では、昨年の原油価格低迷の影響がまだ引き続き、引きずっている面もありますが、原油価格も回復してきている中で、中国では石油化学プラント向け受注・売上が堅調に推移いたしております。

営業利益については、建築設備市場での増収に加えまして、カスタムポンプにおける収益性改善施策を継続して、成果が出てきております。

サポート

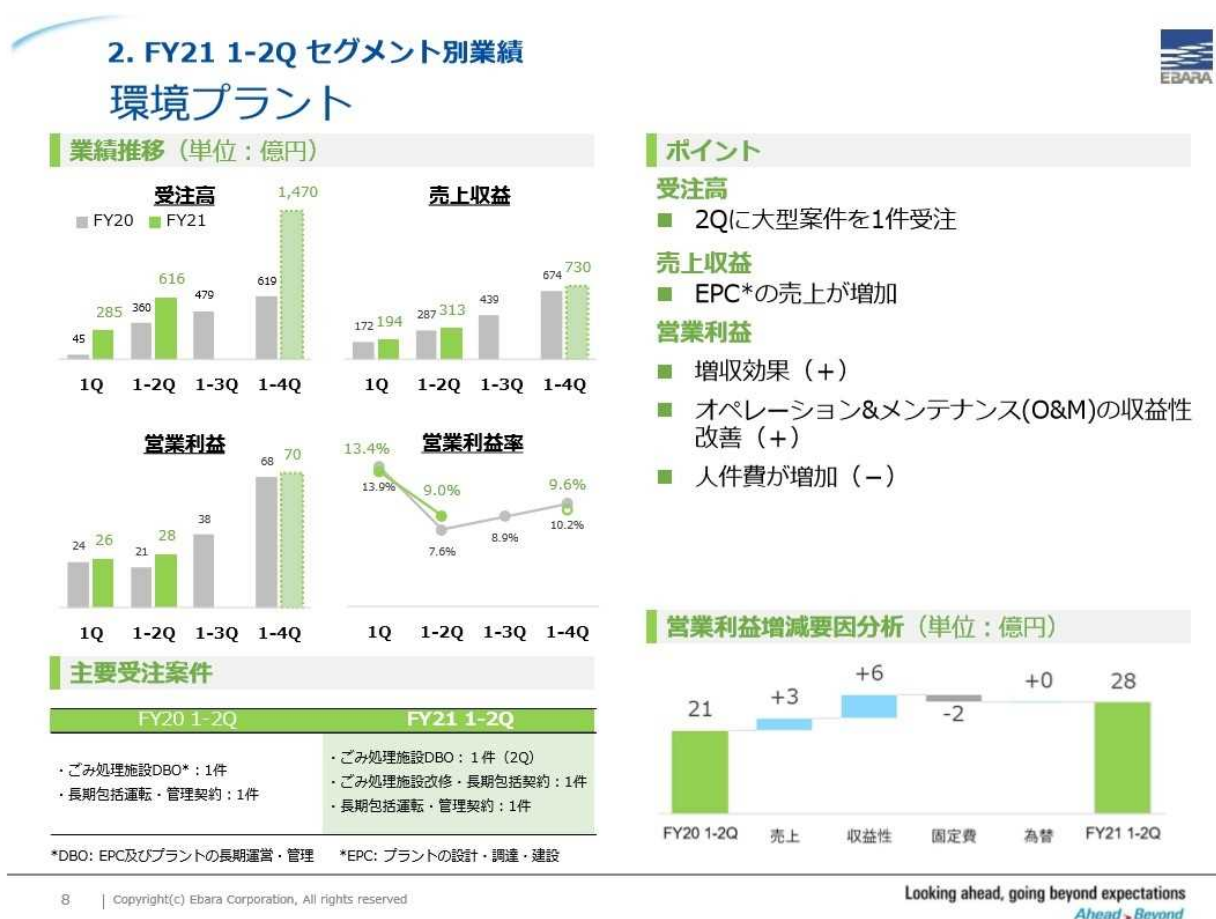
日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

次に、コンプレッサ・タービン事業ですが、コンプレッサ・タービン事業は減収増益でした。一部の地域で顧客の投資案件に動きが見られ、米国でのコロナ影響による営業活動の制限も徐々に緩和されつつありますが、前年同期比では、サービス&サポートの売上が減少しております。

一方、営業利益については、製品の選択受注および原価低減などにより、製品収益性の改善が見られ、増益となっております。

冷熱事業につきましては、増収減益でした。中国市場は需要が回復基調で、受注・売上は堅調に伸びておりますが、主に国内冷凍機のメンテナンス売上の期ずれなどにより、減益となっております。

サブセグメント別損益につきましては、今回の資料の14ページ以降にも数値を掲載しておりますので、そちらも併せてご確認ください。



8 | Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved

Looking ahead, going beyond expectations
Ahead, Beyond

次に8ページ目、環境プラント事業でございます。

受注は前年同期から255億円増の616億円、売上は26億円増の313億円、営業利益は6億円増の28億円で、増収増益となっております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

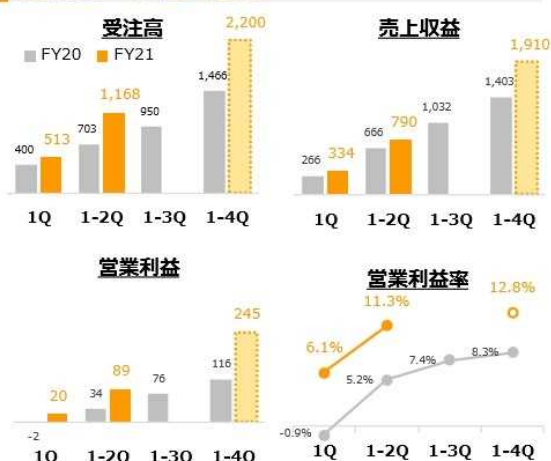


受注案件は左下の主要受注案件に記載の通りですが、第2四半期にごみ処理施設のDBO案件を1件受注しましたので、上期の大型案件は合計3件となりました。EPCの工事進行売上が少なかった前年と比較しまして、今期は工事案件が多く、長期包括案件の工事進行売上也順調に増加したことにより、増益となっております。

2. FY21 1-2Q セグメント別業績 精密・電子



業績推移 (単位: 億円)



ポイント

- 受注高**
- 半導体市場の設備投資は高水準で推移
 - コンポーネント、CMP共に好調
- 売上収益**
- 好調な受注により増収
 - コンポーネント、CMP共にS&Sが増加
- 営業利益**
- 増収効果 (+)
 - CMPの案件ミックスにより収益性が改善 (+)
 - 自動化工場の稼働によりコンポーネントの収益性が改善 (+)
 - 人件費と自動化工場関連の固定費が増加 (-)

営業利益増減要因分析 (単位: 億円)



地域別売上収益

FY21 1-2Q (単位: 億円)	日本	アジア (日本 除く)	北米	欧州	その他	合計
売上収益	236	431	81	35	5	790
増減* (対FY20 1-2Q)	↗	↗	↗	↗	↘	↗

* ↗は+5%以上、↘は-5%以下の変化を、→は変化が±5%未満であることを表す

9 ページ目をご覧ください。精密・電子事業でございます。

受注は前年同期から 465 億円増、率にして 66%の増加でして 1,168 億円、売上は 124 億円増の 790 億円、営業利益は 54 億円増の 89 億円で、増収増益となっております。

半導体需要が旺盛で、顧客全般で生産能力増強や先端投資の動きが加速しておりますので、コンポーネント事業、CMP 事業ともに受注は大きく伸長しております。

今期は製品の受注、売上の増加だけでなく、顧客の高い工場稼働率に伴い、オーバーホールや部品販売など、サービス&サポートの売上也増加しております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



営業利益は増収に加え、CMP 事業で採算性の低い売上案件が上期から下期へ期ずれしたことなど、案件ミックスも増益に寄与しております。また、ドライ真空ポンプの自動化工場の稼働も今期から開始しておりますので、収益性改善の効果がそれによって出てきております。

精密・電子以外の固定費は、需要の拡大に対応した人件費の増加や減価償却費を中心に、自動化工場関連の固定費が増加している状況でございます。

第 2 四半期決算業績についての説明は以上になります。

2021 年の通期業績予想につきましては、社長の浅見から説明させていただきます。

3. FY21 業績予想 連結業績



(単位: 億円) 発表日(年/月/日)	1-4Q				
	FY20 a	FY21 旧計画 21/05/14	FY21 計画 21/08/13 b	増減 b-a	増減率
受注高	5,112	6,630	7,010	+1,897	+37.1%
売上収益	5,224	5,740	5,915	+690	+13.2%
営業利益	375	455	560	+184	+49.1%
営業利益率	7.2%	7.9%	9.5%	+2.3pts	
親会社の所有者に帰属する 当期利益	242	295	370	+127	+52.7%
為替レート(JPY/USD)	106.80	105.00	105.00		
ROIC	6.4%	7.5%	9.3%	+2.9pts	
1株当たり年間配当金	90円	100円	130円	+40円	
中間配当金	30円	50円	50円	+20円	
期末配当金	60円	50円	80円	+20円	

10 | Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved

Looking ahead, going beyond expectations
Ahead, Beyond

浅見: それでは、浅見からご説明させていただきたいと思います。私からは、21 年の通期業績予想についてご説明させていただきます。

10 ページ目になります。

2021 年の事業環境につきましては、足元ではアジア地域でコロナ感染の再拡大、それから中国景気の鈍化懸念、原材料費上昇がリスクとして想定され、楽観視はできない状況ですけれど、リスク

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



対策をしっかりと行って、各事業での事業戦略を着実に行って収益を確保していきたいと思っております。

こうした状況下で、上期業績の進捗と拡大基調にある半導体需要に対応することによって、通期業績の予想を上方修正することといたしました。

前回、5月発表予想から、受注については380億円引き上げて、7,010億円、売上は175億円引き上げて5,915億円といたしました。営業利益は105億円引き上げて560億円、親会社の所有者に帰属する当期利益は75億円引き上げて370億円となる見込みでございます。

受注につきましては、当社初の7,000億円台ということ、それから営業利益、当期利益につきましても、過去最高の達成を目標としております。それから、中期経営計画の最重要経営指標である営業利益率は9.5%、ROICでは9.3%を見込んでおります。

セグメント別の修正計画については、次のページでご説明させていただきます。

3. FY21 業績予想 セグメント別



(単位: 億円) 発表日(年/月/日)		1-4Q			増減 b-a	増減率
		FY20 a	FY21 旧計画 21/05/14	FY21 計画 21/08/13 b		
連結合計	受注高	5,112	6,630	7,010	+1,897	+37.1%
	売上収益	5,224	5,740	5,915	+690	+13.2%
	営業利益	375	455	560	+184	+49.1%
	営業利益率	7.2%	7.9%	9.5%	+2.3pts	
風水力	受注高	3,011	3,200	3,325	+313	+10.4%
	売上収益	3,132	3,190	3,260	+127	+4.1%
	営業利益	198	215	250	+51	+26.3%
	営業利益率	6.3%	6.7%	7.7%	+1.4pts	
環境プラント	受注高	619	1,410	1,470	+850	+137.4%
	売上収益	674	730	730	+55	+8.3%
	営業利益	68	70	70	+1	+1.9%
	営業利益率	10.2%	9.6%	9.6%	-0.6pts	
精密・電子	受注高	1,466	2,000	2,200	+733	+50.0%
	売上収益	1,403	1,800	1,910	+506	+36.1%
	営業利益	116	175	245	+128	+110.7%
	営業利益率	8.3%	9.7%	12.8%	+4.5pts	
その他,調整	受注高	14	20	15	+0	+0.9%
	売上収益	14	20	15	+0	+0.7%
	営業利益	-7	-5	-5	+2	-
	営業利益率	-49.1%	-25.0%	-33.3%	+15.8pts	

セグメントごとに修正内容を見てまいりますと、風水力の事業では、上期業績の進捗、そして、コロナ感染の再拡大による工事遅延、移動制限の長期化などをリスクとして織り込んで計画を立てて

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

おります。5月に発表させていただいた予想からは、受注は125億円、売上は70億円、営業利益は35億円、それぞれ上方修正をした計画としております。

環境プラント事業は、ターゲットとなる受注案件の増額を反映いたしまして、前回予想よりも受注を60億円上方修正いたしております。

精密・電子事業は、足元の良好な事業環境がございまして、受注については200億円、売上は110億円、営業利益で70億円、それぞれ上方修正させていただいております。営業利益は、増収効果が大きく寄与すると見ております。

4. FY21 株主還元

株主還元の見通し

- 配当方針に従い、1株当たり期末配当金を50円から80円に増配し、年間配当金予想を100円から130円に引き上げ
- 自己株式の取得状況は7月末時点で75億円（進捗率37.7%）、141万株（進捗率27.1%）

1株当たり年間配当金予想

1株当たり配当金	期初予想	今回予想
中間	50円	50円
期末	50円	80円
年間	100円	130円

【配当方針】

- 連結配当性向35%以上を目標に当該期の業績に連動して実施
- 連結自己資本配当率（DOE）2.0%以上を確保

自己株式の取得状況

	取得枠 (21/5/14公表)	進捗 (21/7/31現在)
取得価額総額	200億円	75億円(進捗率37.7%)
取得株式総数	520万株	141万株(進捗率27.1%)
取得期間	2021年5月17日～ 2021年12月23日	2021年5月17日～ 2021年7月31日

- ・200億円および520万株のどちらか一方が上限に達した時点で買付終了
- ・上記より取得した自己株式の全株式数を2022年1月31日に消却予定

1株当たり年間配当金推移(円)



自己株式の取得状況(億円)



続いて、株主還元の見通しについて、12ページでご説明させていただきます。

当社の株主還元は、連結配当性向35%以上を目標に、当該期の業績に連動して実施する方針としております。

今回の業績予想の上方修正に伴いまして、配当予想につきましては、1株当たりの期末配当金を期初予想の50円から80円に増配いたしまして、年間配当金は100円から130円に引き上げることといたしました。昨年の年間配当金実績90円からは、40円の増配となる予定でございます。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

それから、5月に200億円、もしくは520万株を上限とする自己株式の取得を発表しておりますので、その進捗について報告させていただきます。

発表から7月末現在までの取得価額では75億円と約4割弱の進捗でございます、おおむね順調に買い付けが推移している状況でございます。

今後も資本配分は成長投資の優先と考えておりますが、株主還元策につきましては、今後の経営環境や財務戦略などを踏まえて、継続して検討をいたしてまいります。

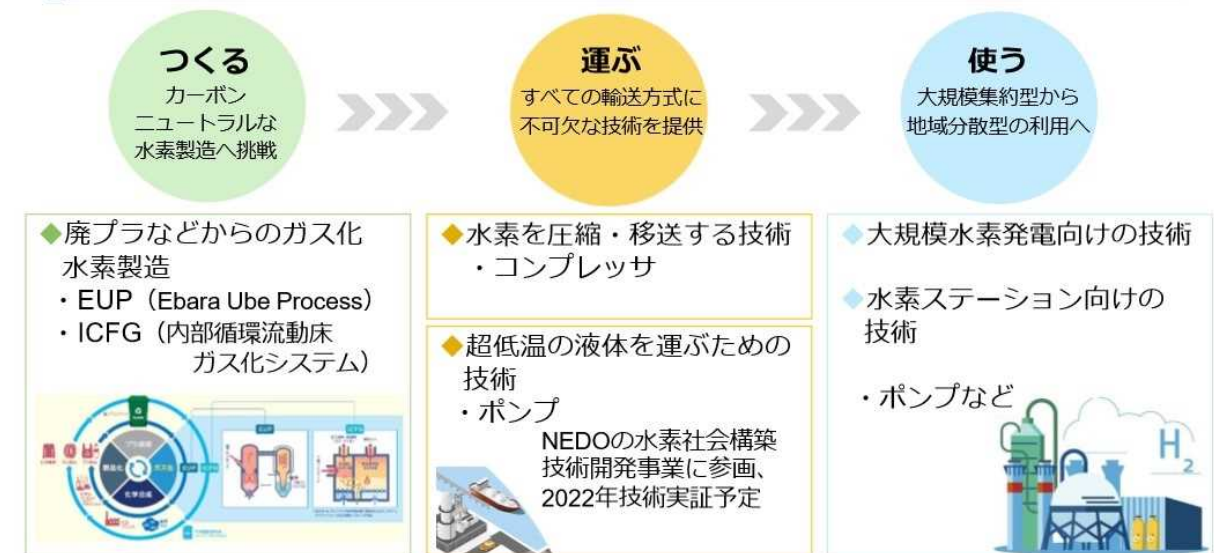
5. トピックス

荏原の水素関連事業プロジェクト



- 長期ビジョン「E-Vision2030」のマテリアリティ「持続可能な社会づくりへの貢献」のため気候変動抑制に寄与する水素関連分野への取り組みを本格的にスタート
- 社長直轄のコーポレートプロジェクト制度を発足し、強力に水素関連プロジェクトを推進する

水素関連事業との親和性の高い当社保有技術と製品



13 | Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved

Looking ahead, going beyond expectations
Ahead > Beyond

続いて、トピックスといたしまして、私どもが8月1日に発表し、立ち上げました、水素関連事業のプロジェクトについて、簡単にご説明、ご紹介させていただきたいと思っております。

化石燃料を動力源として使い始めて以来、人類は地球環境に大きな影響を及ぼすようになったと思います。私が子どもの頃と言えば、自動車の排気ガスで光化学スモッグが起こって、校庭に出られなくなったり、火力発電所からのNOx、SOxで酸性雨が降ってしまったり、工場からの排気、排煙から喘息になってしまったり、家庭用の洗剤が処理されずに川に流れて、魚が住みにくい川になってしまったりというようなことが起こりました。公害と言われるものですが、その当時、二酸化炭素ということは問題には上がりませんでした。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



それがここ数年では、気候変動や地球環境への影響が懸念され、カーボンニュートラルが叫ばれて、荏原でも昨年発表した「E-Vision2030」の中で、重要課題として、持続可能な社会づくりへの貢献、そして、環境マネジメントの徹底を挙げさせていただきました。

一方で、二酸化炭素を出さずに電気をつくることのできる再生可能エネルギーや太陽光、風力などがありますが、これはやはり不安定でございます。また、そういう多くの電気を蓄電池にためるのも技術的に難しいことがございます。

その不便さを補うことを期待されているのが水素です。水素は、他のエネルギーに変換されるときに二酸化炭素を発生させません。燃料電池に水素を充填して電気を発生させたり、車などで重い物を長距離にわたって運ぶことも可能になります。製鉄所や発電所でも水素を利用することができます。

水素をつくったり、運んだり、使ったりするときには、高温の焼却炉、マイナス 253°Cという超低温、それから圧縮などが必要ですが、技術的に難しいことがあります。だからこそ、荏原のそのような分野での強みを発揮して、生かして、貢献できると思ってこのプロジェクトを立ち上げました。

先ほど申し上げたように、現在では受注で 2,000 億円を超えるような規模に育った精密・電子事業も、1985 年に立ち上げたプロジェクトです。それ以来となるコーポレートプロジェクトということで、今回、水素関連事業のプロジェクトを立ち上げて、社会に、世界に貢献していこうと考えております。全社の力を結集して、精密・電子事業のように大きく育てていきたいと思っております。

以上、私からご説明させていただきました。

サポート

日本	03-4405-3160	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasias.com

6. 補足資料 受注高



(単位：億円) 発表日(年/月/日)	FY20				FY21			
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q	1-4Q 旧計画 21/05/14	1-4Q 計画 21/08/13
連結合計	1,241	2,580	3,664	5,112	1,594	3,449	6,630	7,010
風水力	791	1,508	2,223	3,011	789	1,654	3,200	3,325
ポンプ	436	836	1,239	1,660	488	963	1,810	1,900
CT	236	430	610	871	175	404	900	900
冷熱	72	168	256	331	95	221	380	400
その他	45	73	116	147	30	64	110	125
環境プラント	45	360	479	619	285	616	1,410	1,470
精密・電子	400	703	950	1,466	513	1,168	2,000	2,200
コンポーネント	162	316	456	632	203	445	700	830
CMP	219	359	450	779	280	680	1,240	1,300
その他	18	28	43	54	30	42	60	70
その他	4	7	11	14	5	9	20	15

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

6. 補足資料

売上収益



(単位：億円) 発表日(年/月/日)	FY20				FY21			
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q	1-4Q 旧計画 21/05/14	1-4Q 計画 21/08/13
連結合計	1,234	2,454	3,690	5,224	1,352	2,741	5,740	5,915
風水力	790	1,493	2,207	3,132	819	1,628	3,190	3,260
ポンプ	465	819	1,200	1,681	524	962	1,780	1,830
CT	213	440	663	958	166	405	910	910
冷熱	74	167	247	355	86	190	370	390
その他	36	65	96	137	41	71	130	130
環境プラント	172	287	439	674	194	313	730	730
精密・電子	266	666	1,032	1,403	334	790	1,800	1,910
コンポーネント	137	284	430	600	184	375	670	800
CMP	114	353	560	740	138	388	1,050	1,070
その他	14	29	41	63	11	26	80	40
その他	4	7	11	14	4	8	20	15

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

6. 補足資料 営業利益



(単位：億円) 発表日(年/月/日)	FY20				FY21			
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q	1-4Q 旧計画 21/05/14	1-4Q 計画 21/08/13
連結合計	60	127	220	375	122	248	455	560
風水力	46	78	112	198	79	134	215	250
ポンプ	46	59	64	92	76	100	125	140
CT	-7	10	31	77	-6	17	62	80
冷熱	5	11	12	19	3	8	22	22
その他	2	-2	5	9	7	7	6	8
環境プラント	24	21	38	68	26	28	70	70
精密・電子	-2	34	76	116	20	89	175	245
その他、調整	-7	-7	-8	-7	-3	-2	-5	-5

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

6. 補足資料 受注残高



(単位: 億円) 発表日(年/月/日)	FY20				FY21			
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q	1-4Q 旧計画 21/05/14	1-4Q 計画 21/08/13
連結合計	4,817	4,930	4,774	4,675	4,984	5,461	5,565	5,770
風水力	2,093	2,098	2,091	1,942	1,966	2,032	1,952	2,007
ポンプ	899	943	967	909	891	943	939	979
CT	947	908	856	810	850	834	800	800
冷熱	153	157	166	130	142	168	140	140
その他	92	89	101	92	81	85	72	87
環境プラント	2,188	2,390	2,361	2,267	2,362	2,574	2,947	3,007
精密・電子	536	440	320	465	654	853	665	755
その他	0	0	0	0	0	0	0	0

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

6. 補足資料

地域別売上収益



(単位: 億円)	FY20				FY21	
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q
風水力	790	1,493	2,207	3,132	819	1,628
日本	419	682	932	1,306	416	671
アジア (日本除く)	162	392	655	961	231	495
北米	90	135	233	291	54	140
欧州	50	145	195	293	53	146
中東	44	89	118	168	33	97
その他	24	47	72	111	30	78
環境プラント	172	287	439	674	194	313
日本	170	273	416	636	191	304
アジア (日本除く)	2	13	23	37	2	9
精密・電子	266	666	1,032	1,403	334	790
日本	72	161	287	401	91	236
アジア (日本除く)	140	404	590	788	184	431
北米	36	69	99	127	40	81
欧州	12	24	46	73	13	35
その他	4	6	8	11	3	5

※「地域別売上収益」は売上先所在地別売上収益を示す

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

6. 補足資料

貸借対照表



(単位：億円)

	FY20 2Q a	FY20 4Q b	FY21 2Q c	増減 c-a	増減 c-b
資産合計	6,526	6,447	6,972	+446	+525
流動資産	4,529	4,400	4,769	+239	+368
現金及び現金同等物	1,678	1,205	1,527	-151	+322
営業債権	1,622	2,000	1,815	+193	-185
棚卸資産	1,056	1,016	1,206	+150	+189
その他流動資産	171	177	219	+47	+41
非流動資産	1,996	2,047	2,203	+206	+156
負債合計	3,735	3,478	3,868	+133	+389
営業債務	1,196	1,297	1,350	+153	+52
有利子負債	1,329	983	1,132	-196	+149
その他負債	1,209	1,198	1,385	+176	+187
資本合計	2,790	2,968	3,104	+313	+135
自己資本	2,727	2,895	3,022	+295	+127
その他資本	63	73	81	+17	+8
自己資本比率	41.8%	44.9%	43.3%	+1.5pts	-1.6pts
D/Eレシオ	0.49	0.34	0.38	-0.11	+0.04

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

6. 補足資料



キャッシュ・フロー

発表日(年/月/日)	1-2Q			1-4Q			
	FY20	FY21	増減	FY20	FY21 旧計画 21/02/12	FY21 計画 21/08/13	増減
	a	b	b-a	c		d	d-c
営業活動CF	610	628	+18	688	310	450	-238
投資活動CF	-128	-290	-161	-292	-430	-430	-137
フリーCF	481	338	-143	396	-120	20	-376
財務活動CF	248	-39	-288	-143	-50	-290	-146

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

6. 補足資料



資本的支出、減価償却費、研究開発費

(単位：億円)

発表日(年/月/日)

	1-2Q			1-4Q			
	FY20	FY21	増減	FY20	FY21 旧計画 21/02/12	FY21 計画 21/08/13	増減
	a	b	b-a	c		d	d-c
資本的支出	184	108	-75	350	260	270	-80
風水力	61	48	-13	146	110	120	-26
環境プラント	4	2	-1	10	10	10	-0
精密・電子	109	30	-79	169	70	70	-99
その他、調整	8	26	+18	24	70	70	+45
減価償却費	99	101	+2	198	180	210	+11
風水力	51	52	+0	103	80	95	-8
環境プラント	4	3	-0	8	5	5	-3
精密・電子	28	31	+3	57	75	75	+17
その他、調整	14	13	-1	28	20	35	+6
研究開発費	53	62	+9	125	140	140	+14
風水力	23	29	+5	57	60	60	+2
環境プラント	3	3	+0	6	10	10	+3
精密・電子	26	30	+3	60	70	70	+9

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

本資料に記載されている業績予想・計画ならびに将来予測は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び、将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

免責事項

本資料で提供されるコンテンツの信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等について、当社は一切の瑕疵担保責任及び保証責任を負いません。さらに、利用者が当社から直接又は間接に本サービスに関する情報を得た場合であっても、当社は利用者に対し本規約において規定されている内容を超えて如何なる保証も行うものではありません。

本資料または当社及びデータソース先の商標、商号は、当社との個別の書面契約なしでは、いかなる投資商品（価格、リターン、パフォーマンスが、本サービスに基づいている、または連動している投資商品、例えば金融派生商品、仕組商品、投資信託、投資資産等）の情報配信・取引・販売促進・広告宣伝に関連して使用してはなりません。

本資料を通じて利用者に提供された情報は、投資に関するアドバイスまたは証券売買の勧誘を目的としておりません。本資料を利用した利用者による一切の行為は、すべて会員自身の責任で行っていただきます。かかる利用及び行為の結果についても、利用者自身が責任を負うものとします。

本資料に関連して利用者が被った損害、損失、費用、並びに、本資料の提供の中断、停止、利用不能、変更及び当社による本規約に基づく利用者の情報の削除、利用者の登録の取消し等に関連して会員が被った損害、損失、費用につき、当社及びデータソース先は賠償又は補償する責任を一切負わないものとします。なお、本項における「損害、損失、費用」には、直接的損害及び通常損害のみならず、逸失利益、事業機会の喪失、データの喪失、事業の中断、その他間接的、特別的、派生的若しくは付随的損害の全てを意味します。

本資料に含まれる全ての著作権等の知的財産権は、特に明示された場合を除いて、当社に帰属します。また、本資料において特に明示された場合を除いて、事前の同意なく、これら著作物等の全部又は一部について、複製、送信、表示、実施、配布（有料・無料を問いません）、ライセンスの付与、変更、事後の使用を目的としての保存、その他の使用をすることはできません。

本資料のコンテンツは、当社によって編集されている可能性があります。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com